



## 部会だより

### コロイドおよび界面化学部会

## 進化する会報誌

### *Colloid & Interface Communication*

#### はじめに

コロイドおよび界面化学部会では部会員の皆様に向けて *Colloid & Interface Communication* という会報誌（通称：C&I Commun）を年4回発行しています。2023年でVol. 48となり、部会員の皆様の情報交流の場として長年親しまれています。コロイドおよび界面化学部会には多くの委員会が存在しますが、会報誌は編集委員会が担当しており、現在は23名の個性豊かなメンバーが担当しております。

コロイドおよび界面化学部会は大学や公的研究機関の研究者のみならず、企業所属の研究者が活躍していることも特徴で、会報誌 *C&I Commun* の誌面も幅広い世代のコロイド研究者に興味を持っていただけるよう、編集委員会メンバーが知恵を絞って誌面を作成しております。

#### C&I Commun の誌面構成

*C&I Commun* の誌面は以下のような内容で構成されております。

- ①巻頭言      ②特集記事
- ③Interface    ④Topics
- ⑤研究室紹介   ⑥リレートーク
- ⑦部会から      ⑧会告

巻頭言では各委員会の委員長からそれぞれの委員会での活動や目指す形などを発信いただいております、当部会の貴重な連絡板になっています。Interface と Topics

は、様々な所属先の研究者が自身の研究内容をわかりやすく紹介する記事欄です。年一度の討論会で若手研究員に与えられる「優秀口頭講演者賞」の受賞者にも最先端の研究事例を執筆いただいております。さらには当部会から優れた研究成果を上げた研究者に授与される「科学奨励賞」と「技術奨励賞」の受賞者にも奨励賞レビューという形で寄稿いただいております、読み応えのある研究紹介記事欄となっています。

若手の研究者の方々が研究紹介でき、記事を通じてお互いに交流し活躍できる場として、今後も継続的に提供していきたいと考えています。

#### 部会の Sustainability —会報誌の J-STAGE 掲載開始—

日本の人口減少に伴い、大学生の人数減少も続いており、サステナブルな学会運営を目指す活動が必須となってきています。学生会員に卒業後も当部会に関わっていただく、若手研究者の活躍の場を多く提供するなどの施策を充実させていく必要性を感じています。

当部会で扱う研究分野は名前のとおり、コロイド化学や界面化学です。特に界面はどの素材にも存在し、どの研究分野でも関係している分野であると考えています。もっと多くの方々に当部会を知っていただき、ともに歩んでいきたい

と考えています。

その一環として当部会では、2023年度より本記事にてご紹介しています *C&I Commun* を J-STAGE にオープンアクセスで公開することにいたしました。これまで会報誌は部会員の皆様向けの限定サービスとして発刊を続けておりましたが、ペーパーレス時代に合わせて、まずは学生会員への冊子体の配布を停止し、ウェブでアクセスしていただくように変更しました。YouTube やその他 SNS を使いこなすデジタルネイティブ世代には、そのほうが親しみを持っていただきやすいと考えています。また部会員以外の方々もアクセスしていただけるため、ぜひ当部会の研究分野に興味を持っていただき、部会への入会、討論会への参加にもつながるようお願いしております。

下記 QR コードから当部会の J-STAGE へアクセスできますので、ぜひお試しください。



〔2023 年度 C&I Commun 編集委員長  
田中佳祐（日光ケミカルズ(株)）〕

© 2024 The Chemical Society of Japan